


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【京都府立中丹支援学校】

1 実践テーマ	【Ⅲ、Ⅴ】
2 実施対象者	小学部：1年男子2名女子3名、2年男子1名女子4名、 3年男子1名女子4名、4年男子5名女子4名、 5年男子6名女子5名、6年男子6名女子3名 中学部：1年男子8名女子3名、2年男子6名女子5名、 3年男子5名女子3名 高等部：1年男子12名女子8名、2年男子10名女子9名、 3年男子14名女子7名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育） ② 行事名（PTA親子レクリエーション） ③ その他（特別活動、部活動、居住地校交流） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	パラリンピック正式種目であるボッチャの用具（ランプ、八角筋）を購入して活用することで、児童生徒がスポーツに関わりを持つとするとする気運を高めるとともに、自己肯定感のさらなる向上につなげる。
5 取組内容	1 小学部が遊びの指導の時間にボッチャに取り組んだ。肢体に障害のある児童が、購入したランプを活用することで、自ら主体的にボッチャに挑み、できたことへの感動を人間的な成長につなげることができた。  2 小学部が校区の綾部市立綾部小学校で、居住地校交流（交流及び共同学習）としてボッチャに取り組んだ。ボッチャをとおして、友だち同士の絆を深めるとともに、地域とのつながりを広げることができた。  3 高等部が体育の時間にボッチャに取り組んだ。どの生徒も購入

	<p>した八角的に向かって真剣にボールを投げ、見事、的にボールが止まった時は、歓声を上げていた。</p> 
6 主な成果	<p>障害の種別、程度、有無に関わりなく、ともにボッチャを楽しみ、できたことへの感動を、児童生徒のさらなる人間的な成長につなげた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>肢体不自由の障害のある児童生徒が主体的に取組に参加できるようにランプを、さらに、障害のある児童生徒が見通しをもって取り組めるように点数表示付きの八角的を購入して効果的に活用した。</p>
8 主な課題等	<p>来年度は、スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学びという視点も取組に加えて行きたい。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>引き続き居住地交流等でボッチャに取り組むことで、障害者への理解・共生社会のさらなる形成につなげたい。</p>